

6月のインドの遊びでは、カレークッキングから始まり、紙粘土でカレーやナンを作ってインドのカレー屋ごっこを楽しみました。カレーを食べながら見られるダンスや蛇つかいのショーも楽しんで、インドの世界でどっぷりと遊び、インドについて深く知っていく中で、幼児達はより本物の世界で遊ぶことを好んでいきました。



保育室がインドの世界に



協同性

蛇つかいショー



紙粘土のナンカレーも
おいしいけど、



社会生活
との関わり

豊かな感性
と表現

道徳性・規範
意識の芽生え

作り方の確認



粉をこねてホットプレートで焼いたよ



ラッシーで乾杯♪

★ナンカレーパーティがしたい！

幼児の思い



- ・本物のナンってどんなものなのだろう？
- ・ナンでカレーを食べてみたい
- ・ナンカレーパーティがしたい

保育者の願い



- ・より本物の世界観の中で遊びのイメージを広げて欲しい
- ・ナンを手作りし、ナンカレーを経験させたい

言葉による
伝え合い

社会生活
との関わり

保育者はインドのイラストパッケージのカレーを用意する。食べ終わった空き箱は、インドのカレー屋さんの壁面の一部に。インドのカレー屋さんの雰囲気にとんどん近づいてきました。



カレーの辛さに応じて
スパイスを調査

数量・図形、
文字等への
関心・感覚

思考力の
芽生え



豊かな感性
と表現

カレールウやナンのパッケージに書いてあるスパイスにも興味をもち始めたので、本物のスパイスを用意することに。辛いカレーは複数のスパイスを調合したり、色水遊びで作ったジュースをラッシーに見立てたり、より本物のインドのカレー屋での遊びを楽しみました。家庭でもナンを焼いたり、インドカレー屋さんに食べに行ったりする等、園での遊びが家庭での話題になり保護者も一緒に遊びに深く関わってくれようになりました。

今年度は、シール帳の毎月のページに載っている世界の国に関心を持ち、遊びに取り入れて欲しいと願っています。4月はオランダ、5月はオーストラリア、それぞれの国の文化や動物で遊んできて、世界地図クイズをしたり、その国について調べようとしたりする姿も見られるようになってきました。5月の終わり、帳面の次のページをめくりながら、「次はインド、だって」「どんなことして遊ぼうかな？」と幼児の気持ちがインドに向いてきました。



世界地図の中からインドを探す



帳面6月インドのページ



絵本『カレーだいおうのまほう』

社会生活
との関わり

幼児の思い

- ・インドってどこにあるんだろう？
- ・どんな国なのだろう
- ・インドについて知りたい



インドの遊びをしよう！



タージマハル制作



インドゾウを描く

幼児の思い

- ・インドぞうってキラキラの服を着ている
- ・カレーのクッキング楽しかった。インドはカレーが好きな国なんだ！

保育者の願い

- ・毎年恒例のじゃがいも玉ねぎ収穫後、カレーのクッキングを経験し、幼児の身近なものであるカレーとインドのカレー屋を繋げて、遊びを展開して欲しい



カレークッキング後、



カレールーやナンを作り始めた



インドのカレー屋さんがやりたい！

豊かな感性
と表現

協同性



メニューやチケットを準備



異年齢児が食べに来てくれた！



保育者は、幼児がインドの国や文化に興味をもつきっかけとなるように保育室やテラスの環境を構成しました。その後、幼児自身が興味をもち自ら環境に関わって遊び始めると、幼児同士でイメージを出し合う機会を意識し、幼児同士で相談しイメージを共有しながら遊びを進めていく楽しさを味わえるような関わりを意識して行いました。幼児が今興味をもっている遊びと絡めたことにより、毎年恒例になっていた園行事が意味のある、幼児の深い学びに繋がったように思います。



カレーを食べながら見られるショー